

三嶋神社 御祭神・大山祇命、事代主大神
【住所】夕陽ヶ丘60-27 【tel】0463-22-3510

創建1000年以上前。古文書に「薬師三嶋明神の本地仏なり」と記され、平安時代にはすでに漁業の信仰を集めていたと考えられます。江戸時代に盛んだった「大山詣」では海路から訪れる人々の道中の安全祈願所として参拝されていました。1月中旬の「新春えびす祭」では、開運を願う「福笹」を求める人々で賑わいます。7月中旬には豊漁豊作を願う「須賀のまつり」が2日間に亘って開かれ、2日目の浜降りでは7基の神輿が一斉に海に入る様が見たいへん豪快です。

恵比寿神 ～福、富を招く 湘南のえびす様～

おおくにぬし ことしろぬしのおかみ
七福神の中で唯一、日本の神様です。大国主命の子の事代主大神がもてであったとされ、国護りの神話の中で釣りをしていた様子から、漁業と五穀豊穡、商売繁盛の神様として厚く信仰されています。

善性寺 御本尊・日蓮上人
【住所】夕陽ヶ丘45-6 【tel】0463-21-2183

山号は梵行山と号し、1661年頃日栄上人により創建。善性寺はもともと三浦郡横須賀にありましたが、1942年平塚市に移転されました。1945年に戦災で全焼しましたが、1981年に本堂客殿などを復興し現在の形になりました。別名「湯呑寺」、別棟に収められた国内外の著名な作家による湯呑みや茶器など200点以上が無料で拝観できます。

福祿寿 ～福祿寿のご利益と湯呑寺の芸術鑑賞～

中国の道教で説く3つの幸せが名になった神様です。(福…子孫、禄…財産、寿…長寿) 特徴ある長い頭と、豊かなひげをたくわえた背の低い老人の姿で描かれます。

長楽寺 御本尊・薬師瑠璃光如来
【住所】礼場町15-42 【tel】0463-22-0610

創建は782～833年頃、空海が造船、航海、医療などを伝承するため滞在して以降建立されました。相模の国の中本寺として末寺13ヶ所の中心となっていた由緒あるお寺です。1945年の戦災で本堂が焼失し、長く本堂のない時期が続きましたが、2012年に念願の再建がされました。色鮮やかな本尊の薬師瑠璃光如来や十二神将が拝観できます。

1月7日には1年の無病息災を願う、参拝者に薬膳湯が振る舞われる「新春初薬師」が開かれます。

寿老尊 ～延命長寿と福徳を授かる神～

星座の「カノープス」(りゅうこつ座の一部)という星が「寿星」と呼ばれ、人格化したものといわれています。この星は北半球では地平線すれすれにあってまれにしか見られないため、世の中が平和な時だけに出現するおめでたい星として信じられてきました。

拝観時間 10:00～16:00 拝観料無料
※ 御朱印を希望する方は拝観時間内にお越しください。
※ 行事等により御朱印の受付ができない場合があります。

ぐるりとめぐれば **福** がめぐる
ガイドとめぐる
七福神ガイドツアー

毎月7日(7・8月は除く)は七福神ツアーの日！
市民ボランティアによるひらつか七福神や周辺史跡のガイドツアーを行っています。
ツアー内容やお問い合わせは平塚市観光協会まで

 

どこの史跡？

七福神をお参りしながら拝観できる史跡&見どころをご紹介します

① ハスの花
要法寺境内では、春～夏の間沢山のハスの鉢が並びます。境内はまるで極楽浄土のように。6月下旬～7月上旬頃が見頃です。

② 持ち上げ地蔵
蓮光寺境内、願い事を念じながら地蔵を持ち、軽く感じたらその願いは叶うといわれています。

③ 「ツノ」のない鬼子母神
人間の子どもを食うという鬼子母神が、釈迦に諭され安産・子育ての神となり、その証として「鬼」の字のツノ(点)を取っています。妙安寺山門などで見られます。

④ 皀月と東風
令和元年天皇陛下即位記念に奉納された神馬皀月と、令和五年に奉納された東風。日中は交代で平塚八幡宮境内の厩舎から参拝者をお出迎えています。(祭礼や休調などにより不在の場合があります)

⑤ ステンドグラス
善性寺本堂の扉を飾るタチバナがデザインされたステンドグラス。内側からぜひのぞいてみてください。

⑥ 恵比寿像
三嶋神社のえびす様は平塚港の守護神。大きな鯛は、あらゆる福徳の象徴。鯛の頭をなでると開運が訪れるといわれています。

七福神のお土産
各寺社、観光協会でお取り扱い中
御朱印用記念色紙

ミニ絵馬ストラップ
高さ2cmの小さな絵馬型ストラップ。身につけるといいことあるかも？

参拝の記念にいかがでしょうか？
1枚500円 (御朱印代別途)

平塚市市制施行90周年事業限定販売
七福神限定掛け軸 (錦絵型印)

御朱印用色紙と掛け軸が一体になっていて、御朱印を集めてそのまま飾ることができます。100本の数量限定生産です。

2022年、平塚市は市政90周年を迎え、それを記念した限定商品ができました！お取り扱い場所などは観光協会へお問合せください。



2024.9 月改定

湘南ひらつか七福神めぐり



湘南ひらつか七福神ガイドマップ

湘南ひらつか七福神のご案内

七福神めぐりは、七難を除き、七福を与える神様を巡らし、福運を祈る行事として、明治末年から昭和の初めに全国各地で大流行しました。人々が仕事や日常から少し離れ、自由に旅を楽しみ、神様の御利益をいただくことは、とても魅力的な娯楽だったのでしょう。

湘南ひらつか七福神の魅力は、七福神を祀っている寺社が平塚駅を中心に配置されていることです。全行程およそ8キロメートル。アップダウンの少ないならかな道中では、東海道平塚宿の史跡、平塚八景の湘南潮来と平塚砂丘夕映え、花の名所「馬・花と光と風の花づつみ」、平塚漁港等があります。暗れた日には、富士山を望みながら歩く事もできます。

徒歩でめぐれば3～4時間ほどかかりますが、ウォーキングとパワースポット、それにショッピング・お食事処等人情の街平塚の散策をごゆっくりお楽しみください。きっと新たな発見、感動に出会えることでしょう。

湘南ひらつか七福神めぐり公式HP
平塚市観光協会・湘南ひらつか七福神会 TEL:0463-20-5110



要法寺 御本尊：十界曼荼羅、日蓮上人
【住所】平塚4-10-10 【tel】0463-34-0618 【meil】info@yobouji.jp

1282年、鎌倉幕府執権 北条泰時の次男にあたる平塚左衛門尉泰知が「日蓮聖人がこの地に立ち寄る」という七面天女のお告げを受け、人々160人余と共に日蓮大聖人を自らの邸宅に迎え入れました。その晩日蓮大聖人が「四句要法」を説法したところ、平塚の塚の松に紫雲がたなびいたそうです。深く感動した泰知は邸宅を献上して寺とし、日蓮大聖人より、紫雲のたなびく様から「松雲山」四句要法にちなみ「要法寺」という山号と寺号をいただき開山されました。

毘沙門尊天 ～福徳富貴・勇気と実行力を与える～

仏法を守護する四天王の一人「多聞天」としても有名です。もとはインドの財宝福徳を司る神だったといわれています。

妙安寺 御本尊：十界曼荼羅、日蓮上人
【住所】平塚1-12-15 【tel】0463-31-3309

創建1624年頃、徳川家康の側室である養珠院お万の方の奥女中の妙安尼が開基、お万の方の自仏である鬼子母神像を拝受し日上上人を開山として建立されました。平塚鬼子母神として親しまれています。身延山久遠寺の末寺。山号は願印山。毎年11月末の日曜日に、たくさんの小さな大黒像が集まり、1年の汚れを落とし祈禱を行う「大黒祭」が開かれています。

開山…寺を初めに開いた僧 開基…寺を開く際に主に経済的に協力した者

大黒尊天 ～福祿延寿の大黒様～

もとはインドの破壊や戦いの神でしたが、日本では「大国主命(大国さま)」と混同され豊穡の神と呼ばれるようになりました。

平塚八幡宮 御祭神：応神天皇、神功皇后、武内宿禰
【住所】浅間町1-6 【tel】0463-23-3315

今から約1600年前に起きた大地震により多大な被害を受けた民の平穏と地鎮を願い、第15代応神天皇をお祀りする社として建立されました。歴代天皇や源頼朝公、徳川家康公などの武家の崇敬篤く、武運や勝負また安産や子育ての神として、震災や厄災からの守りの神として崇敬されています。

弁財天 ～芸能・財福の神～ 平塚弁財社

インドで、川や海の災いを鎮める神として古くから信仰されてきました。音楽、芸能や学問、さらに美容の神としても信仰されています。

蓮光寺 御本尊：不動明王
【住所】榎木町9-9 【tel】0463-21-0313

慶長年間(1600年頃)弘法大師空海により建立。平塚八幡宮の供僧を兼帯、馬入神明社や一宮寒川神社とも係る。重厚な山門は旧徳川幕府江戸在藩所、長寿寺(金剛峯寺東京別院)より移築されたものです。

布袋尊 ～心やすらぐ和合の神～

古来中国に実在した人物といわれています。簡素な身なりで寺を持たず、人々に予言や占いを授けて供物をもらっていました。中国では至福の象徴として慕われています。